

### III. 妻の生活変動と夫の家事・育児時間

#### (1) 妻が再就職しても、夫は家事・育児に協力しない

仕事から離れていた妻が、再び就職して仕事を始めると、それに応じて妻や夫の家事・育児時間は変わるのだろうか。妻が再就職した年について、生活時間が前年からどう変化したのかを示したのが図表 III-1 である。再就職した年は、前年に比べて、平均で 5 時間弱 (294 分) も仕事時間が増えたが、家事・育児時間は 3 時間弱 (179 分) しか減少してない。つまり、差し引き約 2 時間 (115 分) 分は、(家事・育児時間、仕事時間以外の) 趣味・娯楽・交際時間、睡眠時間などを削っていると考えられる。

また、夫の生活時間をみると、妻の再就職前とほとんど変わっていないため、妻が再就職したからといって家事・育児に協力するようになるわけではないことがわかる。子どもが手を離れたことにより、再就職するケースが多いことも考えると、妻の家事・育児時間の減少分は子どもが手がかからなくなったことなどによるものが多いのかもしれない。

ちなみに、妻の再就職後の平均家事・育児時間は、5 時間 36 分 (妻・平日)、7 時間 16 分 (妻・休日)、20 分 (夫・平日)、2 時間 47 分 (夫・休日) となっている。

図表 III-1 妻の再就職前後の夫婦の家事・育児時間・仕事時間の変化

		単位(分)				
		妻		夫		
人		平日	休日	平日	休日	
2006年(前年との差)	77	家事・育児時間	-179	-20	+2	+1
		仕事時間	+294		-1	
2004~2006年	246	家事・育児時間	-175	-26	±0	-8
(前年との差) <sup>注</sup>		仕事時間	+295		-1	

注：2003~2004年、2004~2005年、2005~2006年間の前年差

(2) 妻が出産すると夫は家事・育児に協力する？

妻が出産すると、それに伴って妻や夫の家事・育児時間は変わるのだろうか。妻が出産した年について夫婦の家事・育児時間が前年（出産前）からどう変化したかをみると、経年的に、夫の家事・育児時間の変化分が増加していることがわかった（平日：4分 23分、休日：100分 153分）。

しかしながら、2006年の平均時間でみると、平日の家事・育児時間は1時間に達しておらず（50分）妻（665分）の10%も達していない（7.5%）。一方、休日では、約3時間（302分）と妻の半分弱（42.2%）であるが、10年前の比（35.0% = 228 ÷ 651）とくらべると、夫が家事・育児に協力していると思われる。

図表 III-2 出産前後における夫婦の家事・育児時間の変化

	人	単位（分）			
		妻 平日	妻 休日	夫 平日	夫 休日
1996年	67	+295	+244	+4	+100
2000年	44	+259	+288	+15	+128
2006年	27	+274	+326	+23	+153

対象：妻が20歳代後半カップル：1996年、2000年、2006年の各時点

図表 III-3 出産後の夫婦の平均家事・育児時間

	人	単位（分）			
		妻 平日	妻 休日	夫 平日	夫 休日
1996年	67	717	651	40	228
2000年	44	650	648	43	259
2006年	27	665	714	50	302

対象：妻が20歳代後半カップル：1996年、2000年、2006年の各時点